

大切なあなたにお聞きします。



まだ、がん検診なんて関係ないわ〜。

受けた方がいいだろうけど、忙しいから、また今度…。



・・・と、検診が後回しになっていませんか？

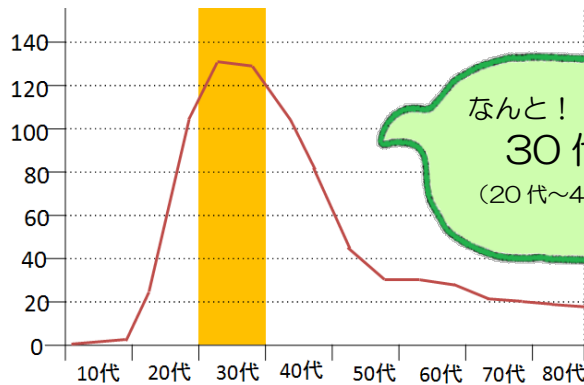
ずばり!

子宮頸がん検診

は若い人にこそ、受診していただきたい検診なんです。

実はこんなデータがあるんです・・・

子宮頸がん罹患率（10万人対）※1



なんと！
30代 がピーク！
(20代~40代で高い罹患率。)

※1 出典：独立行政法人 国立がん研究センター 地域がん登録全国推計(2012年)

子宮頸がんは早期に治療すれば、**90%以上** が治癒します。 ※2

早期のうちに治療すれば、子宮を摘出せずに治癒できるため、妊娠・出産も可能です。

5年相対生存率※3

早期発見
できた場合
(I期)

92.8%

早期発見
できなかった
場合(IV期)

21.6%

※2 ここでの「治癒」とは、診断時からの5年相対生存率です。
相対生存率とは、がん以外の原因で亡くなる人の影響を除いた数字です。

※3 出典：がんの統計'16資料 全国がんセンター協議会加盟施設における5年生存率



Q&A

Q1. どんな事をするの？

A1. 問診(問診票の記入)、視診、細胞診です。
大きめの綿棒で、子宮の入り口を軽くこすって細胞を採取します。

Q2. 痛くないの？

A2. 個人差はありますが、痛みはなく、15分程度で終了します。

Q3. 生理中は受診できるの？

A3. 正しい検査結果が得られない可能性があるため、生理中は受診できません。

